

特殊鋼流通の天彦 した。

産業(本社)大阪市 同社は1875年 夏・冬2回の金剛山 住之江区南港南51 の1月8日に滋賀県 登山が恒例となつて 5-26、樋口克彦社 水口町で鋸製造業・ おり、今や馴染みと 長)は8日、創立1 天彦商店として創 なった山頂に、新た 30周年記念行事の 業。ちょうど130 った。 な足跡を残す形とな

天彦産業・創立130周年

金剛山登山に約80人

一環として金剛山 周年目に当たる同日 当日は朝9時から (大阪府・奈良県) に、大阪近郊で一番 登りを開始し、小雪 登山を行い、同社の 高い位置にある金剛 の舞う中、霧水で覆 従業員に加えて、素 山山頂で記念行事を われた草木の茂る道 材メーカーや機械メ 行うことを企画して を進み、約1時間半 ーカし、流通筋など いたもの。同社では 大阪平野が一望で の関係者82人が参加 12-13年前から毎年 きる山頂に到着。山

山頂で盛大に記念行事



頂ではローカルテレ 杯を行った。 ビ局による撮影も受 下山後は山麓にあ けながら、130周 るグランドホテル二 年記念メニューメン 葉で昼食会を開催 のステンレス製電波 し、参加者全員で改 時計の除幕式を開催 めて祝杯をあげた。 時、お神酒による乾 あいさつに立った樋 口社長は、 「本来なら ば、創業の 地です。記 念行事を行 いたいがこ るですが、 今回は大阪 で一番高い 所です。さ やかな催しを 行わせてい ただきました。当社 の歴史は山道のごと く、まさに先人が切 り開いた道をわれわ れが歩ませてもらっ たものです。山登り は緩急の行程の連続 ですが、これは事業 活動にも人生にも同 様に当てはまること であると、実証され た1日ではないでし ょうか。われわれも 近江商人の端くれと して、「三方よし」の 精神を大切に、事業 展開を図りたい」と 語った。

電波時計の前に立つ樋口社長(中央)